

日本のメディア、テレビや新聞や週刊誌やネット情報は、その大半が①アメリカ合衆国政府の監視を受けたり、②アメリカ合衆国政府の要望通りに放送したり、③アメリカ合衆国政府が気に入った政治家や学者やタレントを中心に情報を発信しています。その理由は「第二次世界大戦でアメリカに負けたから」です。今も日本はアメリカの植民地と言って良いくらいなのです。今の沖縄の姿を見てくれればこのことが現実であることがわかるでしょう？

そもそも自由民主党は1955年のころの米ソの冷戦下で、アメリカ合衆国を守るために作られた政党であり（55年体制と呼びます）、同じ自民党員であっても田中角栄さんや小沢一郎さんや鳩山由紀夫さん（この人たちはもともと自民党員です）たちのように、アメリカ合衆国の支配から脱し、「真に独立国家としての日本」をつくらうとした人たちのすべてが、アメリカ合衆国政府（国務省：CIA）によって潰されました。テレビを見ていて、日本政府やアメリカ合衆国の批判をした学者や評論家が次の日からテレビに出なくなることがよくあることに気が付きませんか？あなた達は知らないうちにアメリカの主張を盲信（もうしん＝何も考えない言いなりになること）してアメリカに洗脳されているのです。ですから理由もなしに中国やロシアを敵国とみなすようになってきているのです。私はアメリカ合衆国が好きです。しかし世界の本当の姿を知り、中国やロシアや貧しい国々と仲よくし、みんな地球環境を守るためには、世界の本当の姿を知る必要があります。その目的でTIMEやNEWSWEEKなどを通じて、アメリカ抱えている重大な問題を公平に伝えているのです。この原稿の多くは2月作成のものです。

USA 特派員レポート

PTSDに苦しむ

911後の退役軍人の自殺者数 30,177人 (米アファウンデーション調べ)

911後の退役軍人全体の自殺者数 7,057人 (米アファウンデーション調べ)

2011年以降の退役軍人全体の自殺者数 11万4000人以上 (STOP SOLDIER SUICIDE調べ)

23倍 2003年までに退役軍人の自殺者数は911後の退役軍人の自殺者数の23倍に達した

86%↑ 2006年以降、18歳〜34歳の若年退役軍人の自殺率は86%増加

10人に1人 退役軍人の10人に1人以上が家族乱用薬物と診断されている

米兵自殺戦死者の4倍

同時テロ以降の戦闘経験者

若年層で高率に一般市民

【下】ドナルド・トランプ大統領は退任の直前に、核兵器を発射する危険性があったという記事です。もし今のアメリカ大統領がトランプ氏ならどうなっていることかと不安になります。但し、森は、自国の利益だけ考える白人優先の商売人の「共和党」のトランプさんよりも、世界を支配しようとし続ける「民主党」のバイデンさんの方が危険であると考えています。

【下】2001年の9月11日のニューヨークでのテロの写真です。しっかりと覚えておいてください。そのうえで、どうして政治家がたくさんいるワシントンが攻撃されなかったのかという記事です。記者は「このテロは、アメリカ合衆国が自作自演のテロを起こして、イスラム教国と戦争を開始し、軍事企業が儲かるようにたくらんだ事件である」と考えておられるのです。映画もありますよ。

トランプ氏の核使用を懸念

軍制服組トップ

米紙ワシントン・ポストなどは14日、米軍制服組トップのミリー統合参謀本部議長が1月6日の連邦議会乱入事件の後、当時のトランプ大統領が核の使用も含めた何らかの軍事作戦に踏み切ることを恐れ、軍幹部との会議でどんな指示もミリー氏を連すように命じたという。来週に発刊される米著名記者ボブ・ウッドワード氏らの新著に記されているという。

乱入事件に衝撃を受けたミリー氏は、2020年大統領選の敗北で精神的に不安定だったトランプ氏が「暴走する可能性を懸念。事件の2日後に米軍幹部らを集めて、軍事作戦実施の手順を確認し、誰から指示を受けようとも、自分が関わっていない限りは従わない」と厳命したという。

「ワシントン鈴木一生」

Features EXCLUSIVE

ア

あの日、ホワイトハウスはなぜ助かったのか

9.11 ツインタワーに激突した2機を操縦するテロリスト2人は愛し合っていた——本誌の取材で明らかになった衝撃の事実

ウィリアム・アーキン(ジャーナリスト、元米陸軍情報分析官)

【上】戦争に駆り出されるアメリカの兵士も、他国の兵士と同じような、ごく普通の若者です。第2次世界大戦以降、カーター大統領の時の4年間を除いて、アメリカ合衆国は常に世界で戦争をしています。それに従軍した兵士たちは、身近で人を殺したり殺されたりするので、精神を病んで、普通の社会生活ができなくなることが多いのです。あなたが戦争に加わったことを想像できたら簡単にわかんと思います。わからなかったら志成館にある「バンド・オブ・ブラザーズ」や「パシフィック」を見てください。それぞれ10時間に及ぶ第二次世界大戦を忠実に再現した映画です。現在ウクライナで戦争が継続しています。戦争を起こしたのは、バイデンさんでありゼレンスキーさんでありプーチンさんです。軍人は命令されて相手国の人たちを殺し自分たちも死んでゆくのです。実に哀れな仕事だと思いませんか。ロシアの兵士だけが悪いなどと言う報道を信じないでください。ウクライナには欧米の軍事の専門家がたくさん派遣されているのです。それも今度の戦争が始まる前からなのです。中国の2500年前からの春秋戦国時代、恐るべき強固な軍隊でヨーロッパを支配したローマ帝国、その他歴史を振り返ると人間の歴史=戦争なのです。科学技術の発展=地球環境の破壊なのです。(泣)

警官による暴行死 過少か

米ワシントン大など調査

40年で3万人 国統計は半数

ワシントン大学と米ワシントン大学で調査されたデータによると、1980年から2020年までの間に、警官による暴行死で死亡した市民は約3万人に達したと推定された。この推定は、米ワシントン大学の研究者が、米ワシントン大学のデータベースを分析した結果だ。この推定は、米ワシントン大学のデータベースを分析した結果だ。この推定は、米ワシントン大学のデータベースを分析した結果だ。

「911テロ」を知らない世代が増えましたので載せています。アメリカやイギリスのお金持ちにとっては、みんなが同じように豊かで幸せになることを願う=共同富裕を図るという思想である「イスラムの教え」や「共産主義や社会主義の理想」が許せないのです。何かおかしくありませんか。日本はそのような強欲なアメリカ合衆国やイギリスとは違う、優しい国家のはずだと思うのですが。

【左】ブラック・ライブズ・マター運動（黒人の命も白人同様に大切にされるべきであるというムーブメント）で問題が明るみになったことなのですが、警察官による犯罪者と疑われる人たち（特に黒人）に対する暴行による死亡者は、テレビや新聞やネットで発表している人数よりもはるかに多いのではないかと記事です。アメリカは先住民を銃で殲滅して建国した暴力国家であり、それが今でも継続しているのです。アメリカ人は、アメリカ国内だけではなく、世界中で人を殺しているのです。中国にはそんなことをした歴史はありません。ロシア人はナポレオンやヒトラーに殺されたのです。

現代が学べる **志成館**

